

**児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)**

事業所名 AIAI PLUS 八千代緑が丘 菊池 恭佑  
記録日 2021年12月24日



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		・法令で定められたスペースを確保している。 ・利用人数やプログラムに応じて他のスペースを使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		・法令で必要とされている配置数に加え、保育士、障がい施設経験者、有資格者を配置している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		・生活空間の構造化として、準備を行う空間、学習プログラム、運動プログラムにそれぞれ取り組む空間、休憩をする空間等明確に区別し、切り替えや集中力向上につながるような環境設定を行っている ・トイレ、出入口等段差は必要最小限とし、充分な広さが確保されている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		・生活空間は時間ごとの消毒、換気を行い、活動に使用した用具の消毒も隨時実施。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		・利用児童の情報共有及び、業務改善に向けた話し合いを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		・年に1度実施。 ・保護者が意見や要望を伝えやすいような雰囲気作りに努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		・ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	・第三者評価を実施できる体制を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		・内部研修のほか、外部の研修にも参加している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		・利用児童の支援方法についてモニタリング時期等カンファレンスを適宜実施している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		・職員が必要に応じた見直しや支援へと繋げられるように、アセスメントツールの活用体制を整えていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		・児童発達支援ガイドラインの内容を職員間で共有し、理解を深めた上で児童発達支援管理責任者を中心に支援内容を共有している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		・利用児童一人ひとりの支援計画に基づき、事業所と家庭での共有、理解を図り支援ができるように努めている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		・学習プログラムの微細運動等は職員間で立案し計画している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		・運動プログラムは2週に1度種目が入れ替わる。 ・学習プログラムは反復と難易度の調整を行った新しいものを織り交ぜながら実施している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		・利用児童に個別、集団療育を組み合わせて支援を行い、支援計画にて明確化している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		・朝礼の中で活動やプログラムの担当、進捗等の確認を行い、情報共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		・サービス提供終了後に振り返りを行い、問題点や課題点、改善点、今後の支援内容を職員間で周知できるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		・日々の記録をとり、職員間で実態の把握をし、支援方法の検討を全体で行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>		・定期的にモニタリングを行っている。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	・新型コロナウイルス感染症もあり、会議は行っていないが、電話等で共有を行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	・関係機関との連携を図るために、情報交換等の連絡を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	・保護者より依頼があった際に学校、事業所での過ごし方や活動の様子等必要な情報共有、相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	・保護者より依頼があった際に学校、事業所での過ごし方や活動の様子等必要な情報共有、相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	・貴社の児童発達支援事業所は連携し情報交換を行っているが、他事業所や専門機関との連携は図っていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもも活動する機会があるか	○	・事業所としての交流や活動は行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	・参加出来ていない。今後スケジュールを確保していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	・送迎時に利用児童の様子等を直接伝え、課題等については状況に応じて共通理解を図っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	・保護者(家族)についてペアレントプログラムの実施を検討していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	・利用契約時に契約書、重要事項説明書の説明を行い、不明な点は詳細に説明を行い理解を図っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	・児童発達支援計画はガイドラインに沿った内容にしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	・申し入れがあった際は送迎時間を調整して頂き、相談時間を設け対応している。
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	・新型コロナウイルス感染症に留意しながら、参加希望者に対して保護者同士の連携が図れる場を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	・申し入れがあった際は送迎時間を調整して頂き、相談時間を設けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	・月1回定期会報を発行している。また適時通知事項は、連絡文をお渡ししている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	・紙ベースの情報の破棄はシュレッター処理をしている。デジタルデータはPCの外部持ち出し禁止、USBの使用を禁止している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	・利用児童の発達状況に合わせた支援を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	・現状行っていないが、今後計画し、実施していく。

非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	<input type="radio"/>		・職員には周知しているが、保護者には出来ていない。今後取り組んでいく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		・定期的な訓練の実施を行っている。(今年度実績7回)
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>		・契約時にフェイスシートに記入頂き、疾病やアレルギー等も共有頂いている。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			・食事提供なし
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		・日々の日誌に記録し、職員間で共有を行っている。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		・新型コロナウイルス感染症の影響で、2021年内は参加していない。事業所内研修は9月に実施。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>		・身体拘束は保護者と十分に協議し、了承を得た上で計画に明記。職員間で周知の徹底を行っている。